

# 歴史講座

# 平家物語



源氏日報

逃走経路は、なるべく人目を避ける道を選んで通ったものと思われます。

かつての愛発関を過ぎて敦賀へ向かう一行に井上左衛門

向かわれ、能美越えの道をとって燧城から、越前の国府の方へ出られるとよろしかろうと存じます」と一行を欺いたのであります。しかし、この嘘を見破った弁慶は平三郎の首を刎ね、敦賀へ向かいました。平三郎が教えた道とは、笹ノ川をさかのぼって刀根・杉箸・池ノ河内、国境を越えて近江の中河内、栃ノ木峠から今庄に出るルートであったと考えられています。

敦賀の港まで下って、気比菩薩の前で夜ごおし祈りを捧げたのち、出羽国へ行く船を探しましたが、まだ二月の初



為

い目にあつたもの無事難を逃れ、足早に先を急いで加賀の篠原から安宅の関を通り奥州へと逃れて

の下僕で平三郎というものが近付き、「この道の先には、義経を待ち構えている者どもが大勢おります。どうかここからお戻りになって、あらためてこの山の峠から東の方へ

兄頼朝に追われる身となつた義経は鎌倉方の殿しい追及を逃れて、どのような経路で奥州平泉に辿り着いたのか。稲葉友昭氏は考察します。

もう少し詳しく深掘りしたいと稲葉氏は語ります。源義経は院宣を奉じて義仲を討ち、また、平氏一族を滅亡させるなどの功績から、後白河上皇の信任を得たのでした。しかし、しだいに兄頼朝と不和となつた義経は、奥州への逃避行をはかることになりました。

京都を発つた義経一行は、まず、大津を目ざしています。そのうち、大津の豪商の計らいで湖上を船で海津の浦に着くことができました。義経の

めであつたので、日本海は風が強く出羽通いの船は見つかりませんでした。やむをえずその夜を明かしたのち、木ノ芽峠を越え、越前の国府に到着。国府では三日留まっています。

また、武生から谷添いに池田へ行き、平泉寺に行つたのかも知れません。平泉寺を出発したあと、加賀国・安宅へさしかかります。

関守を欺くため、義経は荷物運びの下人である強力姿となり、一行は奈良東大寺再建のための勧進であると偽ります。

『義経記』や謡曲『安宅』歌舞伎『勧進帳』では義経一行の逃走経路を北陸道としています。

義経伝承は北陸地方から能登半島の海岸部にかけて多くあり、『義経記』には白山比咩神社や金剣宮に詣でたと記されています。

そのうち、義経の希望で平泉寺へ立ち寄っています。国府から平泉寺へはどの道をとったのかは不明ですが、武生から戸の口坂、足羽川に沿って大野へ、九頭竜川に沿って下り平泉寺へ行くルートか、

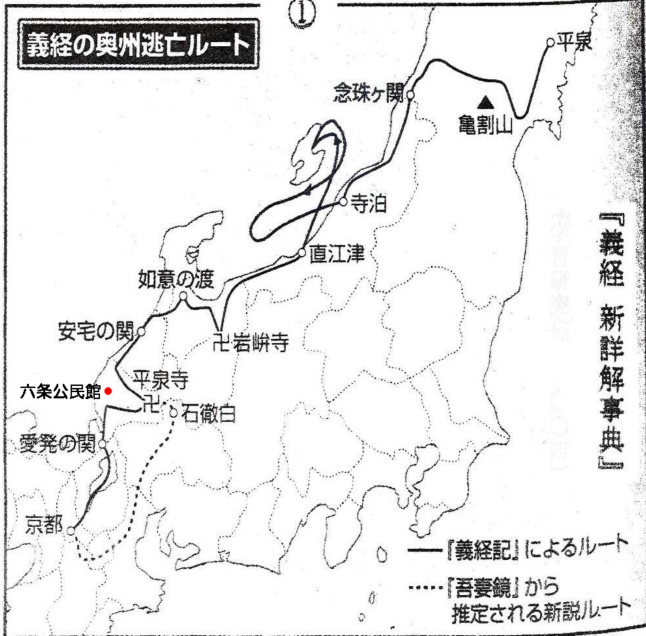
義経が潜んでいた吉野の近くには熊野があり、めざす奥州には出羽三山があります。どちらも修験道の聖地。熊野

義経が潜んでいた吉野の近くには熊野があり、めざす奥州には出羽三山があります。どちらも修験道の聖地。熊野

義経が潜んでいた吉野の近くには熊野があり、めざす奥州には出羽三山があります。どちらも修験道の聖地。熊野

義経一行は見物しようとして立ち寄った越前の平泉寺で危な

義経一行は見物しようとして立ち寄った越前の平泉寺で危な



義経が潜んでいた吉野の近くには熊野があり、めざす奥州には出羽三山があります。どちらも修験道の聖地。熊野

と出羽を結ぶ北陸路は古くより山伏の往来が多く、加賀白山もまた修験の山でした。一行を白山修験道ゆかりの山伏が案内したとの説もります。北陸路を無事通過するには全国を巡り東大寺再建のための寄付を集める山伏姿は格好の隠れ蓑だったのかもしれない。

もちろん頼朝からの追手は全国に及んでいます。山伏だからといって簡単に通ることはできません。弁慶はじめ大人数の一行は目立つ存在だったと思います。怪しんだ関守の富樫は本物の山伏なら勸進帳を読めと迫ります。もちろん勸進帳などありません。弁慶は偽の巻物を広げ、勸進帳の内容を創作し朗々と読みあげます。納得した富樫は一旦通行を認めますが、ふと見た強力が義経に似ていると気付く、疑います。

ます。関所から離れ、弁慶は大切な主君を打った非礼を心より詫びます。そして一行は奥州をめざす厳しい旅を続けます。歌舞伎「勸進帳」では富樫は義経一行と気付きながら、主君を思う弁慶に心打たれ、見逃します。情と理のはざまに立ち、万感の思いで義経たちを見送る富樫。忠義を尽くす弁慶を思い、気付かぬふりをしていきます。それが武士の情。時が時ならば判官殿として国をあげてお迎えするものを、いまは兄に追われる身。いっぽう謡曲「安宅」では弁慶の迫力に富樫が圧倒されて関を通していきます。歌舞伎と能では富樫の心情に違いがありますが、どちらにしても日本の芸能を代表する演目として、現在も人気を集めています。

やがて、越中と加賀との国境にあるくりから峠を越えた一行は、新潟県上越市まで進み、ここでもう一度、船便を活用し、新潟県寺泊町といふ所へ舟は着きました。こうして、なんとか無事に陸に上がることが出来た義経一行は、さらに北陸道を北上して出羽国へ入りました。



たものでした。さらに平家掃討の戦に加わった郎党からは報償を義経が独占することからさまざまな不満と批判が噴出しました。各方面の利益を調整するのが政治である理は今も昔も変わりません。後白河も頼朝もそういう点では老獪な政治家でした。一方、義経は、この時若千27歳。若すぎ、聡明すぎ、そして純粹すぎたのです。2年余の逃亡を余儀なくされた義経。彼を追う暗殺者たちは容赦ありませんでした。義経の短い一生は、やがて奥州の地に閉じることとなりました。

ます。関所から離れ、弁慶は大切な主君を打った非礼を心より詫びます。そして一行は奥州をめざす厳しい旅を続けます。歌舞伎「勸進帳」では富樫は義経一行と気付きながら、主君を思う弁慶に心打たれ、見逃します。情と理のはざまに立ち、万感の思いで義経たちを見送る富樫。忠義を尽くす弁慶を思い、気付かぬふりをしていきます。それが武士の情。時が時ならば判官殿として国をあげてお迎えするものを、いまは兄に追われる身。いっぽう謡曲「安宅」では弁慶の迫力に富樫が圧倒されて関を通していきます。歌舞伎と能では富樫の心情に違いがありますが、どちらにしても日本の芸能を代表する演目として、現在も人気を集めています。

そして歌舞伎の町、小松市では「お旅まつり」の豪華な曳山を舞台に、子供たちが歌舞伎を演じます。また「全国子供歌舞伎フェスティバル」小松」を毎年開催し、地元ならではの演目「勸進帳」を

福井市小丹生町の海岸に「弁慶の洗濯岩」と呼ばれる浸食海岸があります。昔、源義経と弁慶が追手から逃げのびる途中、弁慶が汚れた衣をこの海岸の岩で洗ったという逸話にこの名前が由来するといわれています。

後白河天皇の姦計にまんまとはまった源義経。後白河天皇は棟梁頼朝への連絡無しに頼朝の配下の義経を検非違使に任命したのでした。これは、頼朝の面目丸つぶれを狙ったものでした。

とつさに弁慶は、お前のような者がいるから疑われると義経を金剛杖で打ち据えます。その気迫に押され、まさか主人をここまで激しく打つ家来はいないと富樫は関を通し

ます。関所から離れ、弁慶は大切な主君を打った非礼を心より詫びます。そして一行は奥州をめざす厳しい旅を続けます。歌舞伎「勸進帳」では富樫は義経一行と気付きながら、主君を思う弁慶に心打たれ、見逃します。情と理のはざまに立ち、万感の思いで義経たちを見送る富樫。忠義を尽くす弁慶を思い、気付かぬふりをしていきます。それが武士の情。時が時ならば判官殿として国をあげてお迎えするものを、いまは兄に追われる身。いっぽう謡曲「安宅」では弁慶の迫力に富樫が圧倒されて関を通していきます。歌舞伎と能では富樫の心情に違いがありますが、どちらにしても日本の芸能を代表する演目として、現在も人気を集めています。

福井市小丹生町の海岸に「弁慶の洗濯岩」と呼ばれる浸食海岸があります。昔、源義経と弁慶が追手から逃げのびる途中、弁慶が汚れた衣をこの海岸の岩で洗ったという逸話にこの名前が由来するといわれています。

後白河天皇の姦計にまんまとはまった源義経。後白河天皇は棟梁頼朝への連絡無しに頼朝の配下の義経を検非違使に任命したのでした。これは、頼朝の面目丸つぶれを狙ったものでした。



**平家物語**  
いよいよクライマックス  
1月16日木曜日  
14:00~15:00  
六条公民館 ☎ 0776-41-1001



**歴史講座**  
平家物語最終章へ  
いよいよクライマックスへ...あと2回  
12月12日(木) 14:00~15:00  
六条公民館 ☎ 0776-41-1001

**Coming Soon**